

調査期間 2014年11月1日～継続中
所在地 伊勢原市上粕屋
時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、縄文
調査原因 国土交通省による厚木秦野道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北西約3kmの小谷戸崖裾に位置する。



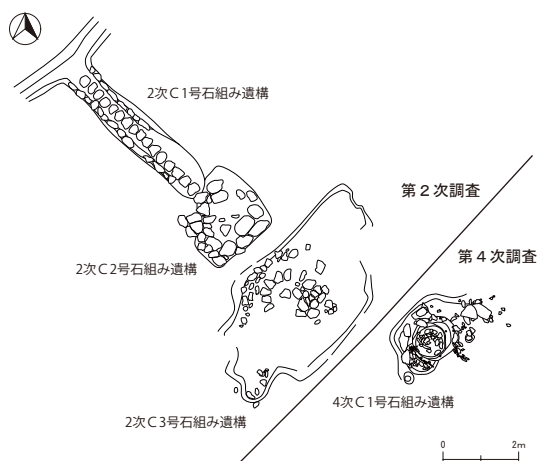
主な調査成果

平成28年度は2-1区、4区の調査を行いました。発見された時代は、中世前期、奈良・平安時代です。特に調査成果が大きい中世前期の石組み遺構について紹介します。

今回発見されたC1号石組み遺構は、鎌倉時代から南北朝時代の井戸であることが分かりました。今回調査や第2次調査でも井戸は数多く見つっていますが、石組みの井戸はこれのみです。そのため、普通の井戸とは異なる利用が考えられます。井戸は、第2次調査発見のC1～3号石組み遺構と近接することから一連の遺構と考えられます。火処（2次C3号石組み遺構）、排水施設（2次C1・2号石組み遺構）、水源（4次C1号石組み遺構）と考えられる遺構がまとまって見つかったのは貴重といえます。

調査地周辺は、平安時代末に創建された「極楽寺」が所在したという伝承が残る地域です。調査で平安時代末から中世初頭の瓦が出土していることから、寺院の存在をうかがうことができます。寺院におけるこれら一連の施設としては、湯屋（または風呂）が考えられますが、厨（台所）などの可能性もあります。いずれにしても、このような特殊な遺構が存在することからも、調査地は寺院域であった可能性が高いといえるでしょう。

今回の発見が「極楽寺」に直接繋がるのかは、今後更なる精査が必要ですが、その可能性があるといえるでしょう。



石組み遺構



4次C1号石組み遺構